

2020 年度

資質・能力を育成する教育デザイン

—子どもスタートの教育実践知から読み解く保育の専門性—

幼稚園・小学校で一貫した資質・能力を育成し、子どもからスタートする教育実践について、教育実践の中で感覚的に積み重ねている実践知を言語化することから「教師の心もち」や「実践をデザインするコツ」という観点でデザインしました。「子どもスタートの教育」は教師がどのようにデザインしているのか、子どもの一日の生活を追いながら具体的に動画で紹介しています。

* 研究報告動画は、皆さんの園内での研修にもご利用いただけます。

ご希望の方はご連絡ください。

0742-45-7261(担当：鎌内)

奈良女子大学附属幼稚園 オンデマンド研究報告会

資質・能力を育成する教育デザイン

—子どもスタートの教育実践知から読み解く保育の専門性—

【研究報告】
子どもからスタートする
資質・能力を育成する教育のデザイン
—教師の心もち・実践をデザインするコツ—

【配信日程】
令和2年11月20日(金)
・11月21日(土)

【参加費用】 無料

【具体的な教育デザイン例】
3歳児「自分のしたい遊びを見つける」
4歳児「所属する集団の枠組みを感じる」
5歳児「困難にあきらめずに取り組み」

※所要時間は各30分程度を予定しています。
※許可なくスクリーンショットの撮影、資料・動画の転載・配布・複製 をすることは固くお断りします。

【参加申し込み】
・申し込みQRコード：
・申し込みURL：
<https://forms.gle/pdxCodKwzUnv1bZv4>
・申し込み締め切り日 11月13日(金)

後援：奈良県教育委員会 奈良市 奈良女子大学教育システム研究開発センター

資質・能力を育成する教育デザイン

—教師の心もち—

尊重
対象な「人」として
多様な能力や個性の力を伸ばす
「個性」を尊重



感情を伴う多様な体験の保障
子どもは
多様な体験を保障する



委ねる—自己決定と責任
自分が決められる集団をつくる
—社会に参画する喜び



探究する姿勢
[IVUCA]—好奇心・想像力
観察力・発想力—を養いしむ



語ること
フィードバックによる自己評価の育成



語らないこと
命を懸けることへの恐怖の軽減



教師の心もち

資質・能力を育成する教育デザイン

—実践をデザインするコツ—

多様な遊び
アイディアの共有(決まりを明確に
確認し合える)を促す



子ども主体の生活を創る
子どもが自分で決断して
集団生活に参画する積極性



遊びを創り出す
遊びの力を発揮する
遊びのアイデアを
子ども自身で創り出して



仲間を認め思考とつなぐ
見えないものを可視化していく



余地を大切に 残す
子どもと協働して遊びを創る



環境のもつ可能性を生かす
子どもの運動性の発達を促す



実践をデザインするコツ

学級全体活動

・同じ動きをすることが目的ではなく、この活動で何をねらっているのか、を教師が明確にし、子どもと活動との多様な出会いを大切に

余地

- 子ども自身が自分で判断・選択する

尊重

- 多様な感じ方、参加の仕方、学び方があがる



食べに行こう！

3歳児のいちにち例

自由選択活動

—ソフトクリームをつくりたい—

語ること

子どもの行動の言語化
次の行動への意識づけ

探究

大人も答えをもたない
繰り返しを保障する

語らないこと

あえて「語らない」ことで子ども自身の考えで行動し、発見できるようにする

多様な体験の保障

その子なりの思考の機会を保障する



振ってみたら出やすくなったかな？次はどうしてみる？

4歳児のいちにち例

自由選択活動

—素敵な華を作ってあげよう—

・何気ない「楽しさ」のつながりが次の遊びや活動を生み出す

語らないこと

「楽しい」という時間を共有する

余地

何を学ぶか・どう学ぶかは子どもに委ねられている

タネまき

生活に「かし」が位置付き、自分達の遊びになる



5歳児のいちにち例